950 GC
ホイールローダ

技術仕様

コンフィギュレーションおよび機能は地域により異なります。利用可能かどうかは、地域のCat® ディーラにお問い合わせください。

目次

仕様 2

エンジン 2
質量 2
運転仕様 2
トランスミッション 2
整備交換時の容量 2
バケット容量 2
エアコンディショニングシステム 3
油圧システム 3
タイヤ 3
騒音 3
キャブ 3
ブレーキ 3
寸法 4
旋回半径 5
タイヤオプション 5
950 GCに固有の変更 5
バケット充填比とセレクションチャート 6
運転仕様 7
フォーク仕様 11
マテリアルハンドリングアーム仕様 15

標準およびオプション装備品 16

950 GCの環境に関する宣言 17

950 GCホイールローダの仕様

エンジン

エンジンモデル	Cat® C7.1	
エンジン出力（2,000 rpm時） ISO 14396: 2002	179 kW	240 hp
ISO 14396:2002（DIN）	243 hp（メートル単位）	
定格出力（グロス）（2,000 rpm） SAE J1995:2014	180 kW	241 hp
SAE J1995:2014（DIN）	245 hp（メートル単位）	
定格出力（ネット）（1,700 rpm時） ISO 9249:2007, SAE J1349:2011	168 kW	225 hp
SAE J1349:2011（DIN）	228 hp（メートル単位）	
エンジントルク（1,400 rpm時） ISO 14396:2002	1,092 N·m	805 lbf-ft
総トルク（1,400 rpm） SAE J1995:2014	1,099 N·m	811 lbf-ft
定格トルク（ネット）（1,400 rpm時） ISO 3294:2007 SAE J1349:2011 EEC 80/1269	1,041 N·m	768 lbf-ft
内径	105 mm	4.13 in
行程	135 mm	5.31 in
排気量	7.01 L	428 in^3

- CATエンジンは、米国EPA Tier 4 Final、EU Stage V、韓国Stage V、日本オフロード法2014年基準の各排出ガス基準に適合しています。
- 表示されている正味出力は、エンジンにファン、オルタネータ、エアクリーナ、後処理装置が装備された状態で、フライホイール部で得られる出力です。
- CATディーゼルエンジンは、ULSD（硫黄含有量15 ppm以下の超低硫黄ディーゼル燃料）、または次の低炭素強度燃料を混合したULSDを使用する必要があります。
  - 最大20 %のFAME（Fatty Acid Methyl Ester、脂肪酸メチルエステル）バイオディーゼル*
  - 100 %の再生可能ディーゼル、HVO（水素化植物油）、およびGTL（ガス液化）燃料。

  適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Catディーラにお問い合わせいただくか、“Caterpillar推奨の機械油水類”（SEBU6250）を参照してください。

*後処理装置のないエンジンは、より高い混合率に対応し、最大100 %のバイオディーゼルを使用できます（混合率が20 %を超えるバイオディーゼルの使用については、Catディーラにお問い合わせください）。

質量

運転質量	19,069 kg	42,040 lb

- 示している質量、静止転倒荷重、運転質量は、次の車両仕様構成に基づきます。Maxam 23.5R25タイヤ、油水類満タン、オペレータ搭乗、標準カウンタウエイト、標準周囲アレンジメント、リミテッドスリップディファレンシャルアクスル（フロント/リア）、ローディングフェンダ、ライドコントロール、BOCEを装着した3.1 m^3（4.0 yd^3）ゼネラルパーパスバケット。

運転仕様

静止転倒荷重 – 38 °フルターン時		
タイヤたわみあり	11,160 kg	24,604 lb
タイヤたわみなし	11,906 kg	26,248 lb
掘削力	154 kN	34,645 lbf

- “質量”の項で定義した車両仕様の場合。
- ISO 14397-1:2007第1 ~ 6項に完全適合（計算と試験間に2 %検証を義務付け）。

トランスミッション

前進1速	7.3 km/h	4.5 mph
前進2速	12.8 km/h	8.0 mph
前進3速	22.8 km/h	14.2 mph
前進4速	36 km/h	22.4 mph
後進1	7.3 km/h	4.5 mph
後進2	12.8 km/h	8.0 mph
後進3	22.8 km/h	14.2 mph

- 最高走行速度（23.5-25タイヤ）。
- 旋回半径が760 mm（30 in）の標準L3タイヤが装着された標準車両で、バケットが空荷のときの最高走行速度

整備交換時の容量

燃料タンク	290 L	76.6 gal
尿素水タンク	16 L	4.2 gal
冷却系統	50 L	13.2 gal
クランクケース	18 L	4.8 gal
トランスミッション	45 L	11.9 gal
ディファレンシャルおよびファイナルドライブ – フロント	40 L	10.6 gal
ディファレンシャルおよびファイナルドライブ – リア	38 L	10 gal
作動油タンク	112 L	29.6 gal

バケット容量

バケットラインアップ	2.7 ~ 4.4 m^3	3.5 ~ 5.75 yd^3

エアコンディショニングシステム

当機のエアコンシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒R134a（地球温暖化係数=1,430）を使用。システムに含まれている冷媒の質量は1.9 kg（4.2 lb）で、CO_2換算で2.717メートルトン（2.995米トン）に相当します。

油圧システム

作業装置システムポンプタイプ	ピストン	
ステアリングシステムポンプタイプ	ピストン	
作業装置システム – 最大ポンプ出力（2,390 rpm時）	256 L/min	68 gal/分
作業装置システム – 最大動作圧力（50 ± 1.5 L/min時）	27,900 kPa	4,047 psi
作業装置システム – オプションの第3機能最大圧力（70 L/min（18.5 gal/min）時）	20,680 kPa	2,999 psi
作業装置システム – オプションの第3機能最大流量	240 L/min	63 gal/分
油圧サイクルタイム – 運搬位置から上げ	5.4秒	
油圧サイクルタイム – ダンプ、最大上げ時	1.2秒	
油圧サイクルタイム – 下げ、無積載、浮き下げ	2.8秒	
油圧サイクルタイム – 合計サイクルタイム	9.4秒	

タイヤ*

- 以下からお選びいただけます。
  23.5R25 L3 ★★（TriangleおよびMaxam）
  23.5R25 L3 ★（Bridgestone）
  23.5R25 L2 ★（Bridgestone）
  23.5R25 L5 ★★（Triangle、Maxam、およびBridgestone）

*タイヤは地域によって異なります。詳細については、最寄りのCatディーラにお問い合わせください。

騒音

オペレータ音圧レベル（ISO 6396:2008）	73 dB（A）
外部音響パワーレベル（ISO 6395:2008）	109 dB（A）
オペレータ音圧レベル（ISO 6396:2008）	72 dB（A）*
外部音響パワーレベル（ISO 6395:2008）	107 dB（A）**

*EU指令および英国指令の採用国を含む。
**EU騒音指令2000/14/ECおよびイギリス騒音規制2001 No. 1701

キャブ

ROPS/FOPS	ROPS/FOPSはISO 3471:2008およびISO 3449:2005 Level II規格に適合

ブレーキ

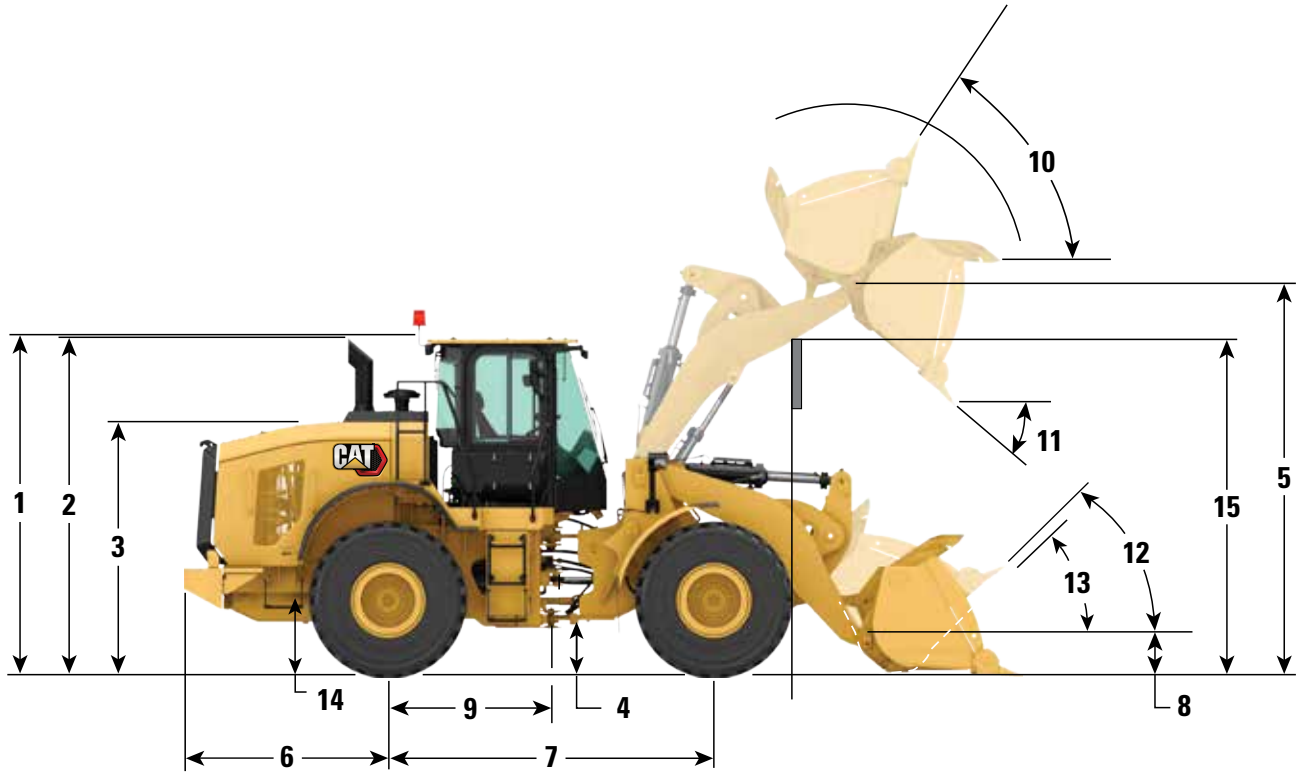
ブレーキ	ブレーキはISO 3450:2011基準に適合

をコントロールするために使用されます。

950 GCホイールローダの仕様

寸法

すべての寸法は、Maxam MS302 23.5R25 L3ラジアルタイヤ装着時の概算値です。



1	ROPS頂部までの高さ	3,458 mm	11'4"
2	全高（マフラ上端まで）	3,416 mm	11'2"
3	フード最上部までの高さ	2,673 mm	8'9"
4	最低地上高	460 mm	1'6"
5	Bピンの高さ	4,188 mm	13'9"
6	リアアクスルの中心線からカウンタウエイトの端まで	2,055 mm	6'9"
7	ホイールベース	3,300 mm	10'10"
8	Bピン高さ（運搬時）	655 mm	2'2"
9	リアアクスルの中心線からヒッチまで	1,650 mm	5'5"
10	ラックバック（最大リフト時）	60°	
11	ダンプ角度（最大リフト時）	52°	
12	ラックバック（運搬位置）	45°	
13	ラックバック（地上時）	40°	
14	アクスル中心線までの高さ	750 mm	2'6"
15	リフトアームクリアランス	3,649 mm	12'0"

旋回半径

すべての寸法は、23.5R25 Maxam MS302 L3タイヤ装着時の概算値です。

タイヤ外側までの旋回半径	6,164 mm	20'3"
タイヤ内側までの旋回半径	3,419 mm	11'3"
タイヤを含む幅	2,840 mm	9'4"
カウンタウエイト外縁までの旋回半径	6,196 mm	20'4"

タイヤオプション*

タイヤブランド	Maxam	Triangle	ブリヂストン	Maxam	Triangle	ブリヂストン	ブリヂストン
タイヤサイズ	23.5R25	23.5R25	23.5R25	23.5R25	23.5R25	23.5R25	23.5R25
トレッドタイプ	L5	L5	L5	L3	L3	L3	L2
トレッドパターン	MS503	TL538S+	VSDT	MS302	TB516	VJT	VUT
車両全幅 – 最大（積荷なし）**	2,775 mm 9'1"	2,819 mm 9'3"	2,821 mm 9'3"	2,832 mm 9'3"	2,751 mm 9'0"	2,814 mm 9'2"	2,825 mm 9'3"
車両全幅 – 最大（積荷あり）**	2,805 mm 9'2"	2,827 mm 9'3"	2,839 mm 9'4"	2,843 mm 9'3"	2,751 mm 9'0"	2,833 mm 9'3"	2,843 mm 9'3"
垂直方向寸法の変化 （フロントおよびリアの平均）	51 mm 2.01"	48 mm 1.89"	44 mm 1.73"	0 mm 0"	2 mm 0.01"	–14 mm –0.55"	–17 mm –0.06"
水平リーチの変化	–18.5 mm –0.73"	–22.5 mm –0.89"	–15.5 mm –0.61"	0 mm 0"	5.5 mm 0.02"	14.5 mm 0.57"	14.5 mm 0.57"
最小旋回半径の変化（最外輪外側）	–19.0 mm –0.75"	–8.0 mm –0.31"	–2.0 mm –0.08"	0 mm 0"	–46 mm –0.15"	–5 mm –0.02"	0 mm 0"
最小旋回半径の変化（内輪内側）	19.0 mm 0.75"	8.0 mm 0.31"	2.0 mm 0.08"	0 mm 0"	46 mm 0.15"	5 mm 0.02"	0 mm 0"
運転質量の変化（バラストなし）	472 kg 1,041 lb	420 kg 926 lb	568 kg 1,252 lb	0 kg 0 lb	–12 kg –26 lb	0 kg 0 lb	–120 kg –265 lb

*タイヤは地域によって異なります。詳細については、最寄りのCatディーラにお問い合わせください。
**タイヤ膨らみ幅（タイヤ膨張分含む）。

950 GCに固有の変更*

タイヤブランド	Maxam	Triangle	ブリヂストン	ブリヂストン
タイヤサイズ	23.5R25	23.5R25	23.5R25	23.5R25
トレッドタイプ	L3	L3	L3	L2
トレッドパターン	MS302	TB516	VJT	VUT
静止転倒荷重の変化 – 直進時	7 kg 15.4 lb	–8 kg –17.6 lb	0 kg 0 lb	–79 kg –174 lb
静止転倒荷重の変化 – アーティキュレート時	0 kg 0 lb	–7 kg –15.4 lb	0 kg 0 lb	–70 kg –154 lb

*タイヤは地域によって異なります。詳細については、最寄りのCatディーラにお問い合わせください。
注記: 「変更」の寸法に使用した基準タイヤ: Maxam MS302。

950 GCホイールローダの仕様

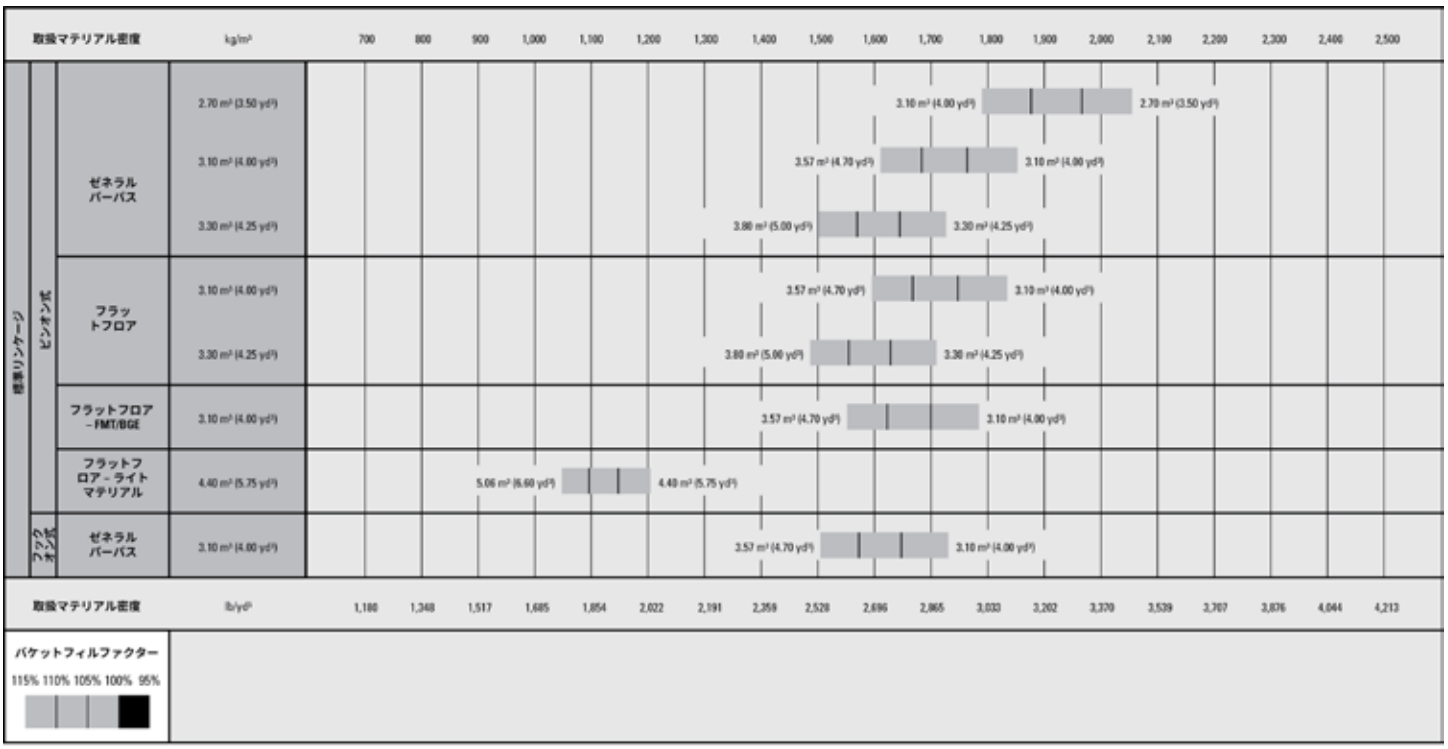
バケット充填比とセレクションチャート

バケットのサイズは、材料密度と想定されるフィルファクターに基づいて選択する必要があります。Catパフォーマンスシリーズのバケットでは、長いフロア、広いバケット開口部、拡大された荷の保持角度、丸みをつけたサイドボード、一体型のスピルガードが特長で、従来製品またはCat以外のバケットよりもフィルファクターが大幅に改善されています。そのため、このバケットが実際に積込できる容量は、定格容量を上回ることがあります。

ルーズマテリアル		取扱マテリアル密度	フィルファクター (%) *
土/粘土		1,500 ~ 1,700 kg/m³ (2,528 ~ 2,865 lb/yd³)	115
砂および砂利		1,500 ~ 1,700 kg/m³ (2,528 ~ 2,865 lb/yd³)	115
アグリゲート:	25〜76 mm (1〜3 in)	1,600 ~ 1,700 kg/m³ (2,696 ~ 2,865 lb/yd³)	110
	19 mm (0.75 in) 以下	1,800 kg/m³ (3,033 lb/yd³)	105
岩石用:	76 mm (3 in) 以上	1,600 kg/m³ (2,696 lb/yd³)	100

*ISO 7546:1983定格容量に対する比率。

注記: 達成できるフィルファクターは、製品が洗浄されているかどうかによっても異なります。



注記: すべてのバケットにボルトオンエッジが示されています。
FMT/BGE = フラッシュマウントバックグレーディングエッジ

運転仕様

バケットタイプ		ゼネラルパーパス – ピンオン					
エッジのタイプ		ボルトオンカッティングエッジ	ツースとセグメント	チップ	ボルトオンカッティングエッジ	ツースとセグメント	チップ
容量 – 定格	m^3	2.70	2.70	2.50	3.10	3.10	2.90
	yd^3	3.50	3.50	3.25	4.00	4.00	3.75
容量 – 110 %定格	m^3	3.00	3.00	2.80	3.40	3.40	3.20
	yd^3	4.00	4.00	3.50	4.50	4.50	4.25
幅	mm	2,927	2,994	2,994	2,927	2,994	2,994
	ft/in	9'7"	9'10"	9'10"	9'7"	9'10"	9'10"
ダンピングクリアランス（最大リフトおよび45 °ダンプ時）	mm	3,130	3015	3015	3,050	2,933	2,933
	ft/in	10'3"	9 ft 9"	9'9"	10'0"	9'8"	9'8"
リーチ（最大リフトおよび45 °ダンプ時）	mm	1,207	1,320	1,320	1,261	1,372	1,372
	ft/in	4'0"	4'3"	4'3"	4'2"	4'6"	4'6"
リーチ（リフトアーム水平、バケット水平時）	mm	2,620	2,781	2,781	2,719	2,880	2,880
	ft/in	8'6"	9'1"	9'1"	8'11"	9'5"	9'5"
掘削深さ	mm	86	86	56	86	86	56
	in	3.39"	3.39"	2.2"	3.39"	3.39"	2.2"
全長	mm	8,138	8,312	8,312	8,292	8,466	8,466
	ft/in	26'7"	27'3"	27'3"	27'3"	27'9"	27'9"
全高（バケット最大リフト時）	mm	5,557	5,557	5,557	5,642	5,642	5,642
	ft/in	18'2"	18'2"	18'2"	18'6"	18'6"	18'6"
ローダ最小旋回半径（バケットを運搬姿勢にしたとき）	mm	13,763	13,927	13,927	13,819	13,984	13,984
	ft/in	45'2"	45'7"	45'7"	45'4"	45'11"	45'11"
静止転倒荷重（直進時、タイヤたわみあり）*	kg	12,618	12,481	12,807	12,721	12,583	12,912
	lb	27,818	27,516	28,235	28,045	27,741	28,466
静止転倒荷重（直進時、タイヤたわみなし）*	kg	13,328	13,190	13,525	13,559	13,420	13,760
	lb	29,383	29,079	29,818	29,892	29,586	30,336
静止転倒荷重（アーティキュレート時、タイヤたわみあり）*	kg	10,975	10,838	11,147	11,160	11,021	11,335
	lb	24,196	23,894	24,575	24,604	24,297	24,989
静止転倒荷重（アーティキュレート時、タイヤたわみなし）*	kg	11,666	11,528	11,846	11,906	11,766	12,090
	lb	25,719	25,415	26,116	26,248	25,940	26,654
掘削力	kN	168	166	184	154	153	168
	lbf	37,768	37,318	41,365	34,638	34,380	37,666
運転質量*	kg	18,454	18,562	18,405	19,069	19,177	19,020
	lb	40,684	40,922	40,576	42,040	42,278	41,932

*示している静止転倒荷重および運転質量は、次の車両仕様構成に基づきます。Maxam MS302 23.5R25タイヤ、油水類満タン、オペレータ搭乗、標準カウンタウエイト、標準周囲アレンジメント、リミテッドスリップディファレンシャルアクスル（フロント/リア）、ローディングフェンダ、ライドコントロール。

（タイヤたわみあり）ISO 14397-1:2007第1 ~ 6項に完全適合（計算と試験間に2 %検証を義務付け）。

（タイヤたわみなし）ISO 14397-1:2007第1 ~ 5項に適合。

バケットとワークツールの装備は、地域によって異なる場合があります。詳細については、最寄りのCatディーラにお問い合わせください。

950 GCホイールローダの仕様

運転仕様

バケットタイプ		ゼネラルパーパス – ピンオン					
エッジのタイプ		ボルトオンカッティングエッジ	ツースとセグメント	チップ	ボルトオンカッティングエッジ	ツースとセグメント	チップ
容量 – 定格	m^3	3.30	3.30	3.10	3.40	3.40	3.20
	yd^3	4.25	4.25	4.00	4.50	4.50	4.25
容量 – 110 %定格	m^3	3.60	3.60	3.40	3.70	3.70	3.50
	yd^3	4.75	4.75	4.50	4.75	4.75	4.50
幅	mm	2,927	2,994	2,994	2,927	2,994	2,994
	ft/in	9'7"	9'10"	9'10"	9'7"	9'10"	9'10"
ダンピングクリアランス（最大リフトおよび45 °ダンプ時）	mm	3012	2,894	2,894	2,985	2,867	2,867
	ft/in	9'11"	9'6"	9'6"	9'10"	9'5"	9'5"
リーチ（最大リフトおよび45 °ダンプ時）	mm	1,292	1,402	1,402	1,312	1423	1423
	ft/in	4'3"	4'7"	4'7"	4'4"	4'8"	4'8"
リーチ（リフトアーム水平、バケット水平時）	mm	2,769	2,930	2,930	2,804	2,965	2,965
	ft/in	9'1"	9'7"	9'7"	9'2"	9'9"	9'9"
掘削深さ	mm	86	86	56	86	86	56
	in	3.39"	3.39"	2.2"	3.4"	3.4"	2.2"
全長	mm	8,342	8,516	8,516	8,377	8,551	8,551
	ft/in	27'4"	27'11"	27'11"	27'6"	28'1"	28'1"
全高（バケット最大リフト時）	mm	5,690	5,690	5,690	5,722	5,722	5,722
	ft/in	18'8"	18'8"	18'8"	18'9"	18'9"	18'9"
ローダ最小旋回半径（バケットを運搬姿勢にしたとき）	mm	13,847	14,013	14,013	13,867	14,034	14,034
	ft/in	45'5"	46'0"	46'0"	45'5"	46'0"	46'0"
静止転倒荷重（直進時、タイヤたわみあり）*	kg	12,635	12,495	12,817	12,574	12,434	12,760
	lb	27,855	27,547	28,257	27,721	27,413	28,132
静止転倒荷重（直進時、タイヤたわみなし）*	kg	13,476	13,335	13,668	13,417	13,276	13,613
	lb	29,709	29,299	30,133	29,579	29,268	30,012
静止転倒荷重（アーティキュレート時、タイヤたわみあり）*	kg	11,078	10,939	11,246	11,021	10,882	11,193
	lb	24,423	24,116	24,793	24,298	23,990	24,675
静止転倒荷重（アーティキュレート時、タイヤたわみなし）*	kg	11,826	11,685	12,002	11,771	11,629	11,951
	lb	26,072	25,761	26,460	25,950	25,638	26,347
掘削力	kN	148	147	160	144	143	156
	lbf	33,238	32,981	36,033	32,318	32,062	34,966
運転質量*	kg	19,110	19,218	19,061	19,137	19,245	19,088
	lb	42,130	42,368	42,022	42,191	42,429	42,083

*示している静止転倒荷重および運転質量は、次の車両仕様構成に基づきます。Maxam MS302 23.5R25タイヤ、油水類満タン、オペレータ搭乗、標準カウンタウエイト、標準周囲アレンジメント、リミテッドスリップディファレンシャルアクスル（フロント/リア）、ローディングフェンダ、ライドコントロール。

（タイヤたわみあり）ISO 14397-1:2007第1 ~ 6項に完全適合（計算と試験間に2 %検証を義務付け）。

（タイヤたわみなし）ISO 14397-1:2007第1 ~ 5項に適合。

バケットとワークツールの装備は、地域によって異なる場合があります。詳細については、最寄りのCatディーラにお問い合わせください。

運転仕様

バケットタイプ		フラットフロア – ピンオン式					
エッジのタイプ		ボルトオンカッティングエッジ	ツースとセグメント	チップ	ボルトオンカッティングエッジ	ツースとセグメント	チップ
容量 – 定格	m^3	3.10	3.10	2.90	3.30	3.30	3.10
	yd^3	4.00	4.00	3.75	4.25	4.25	4.00
容量 – 110 %定格	m^3	3.40	3.40	3.20	3.60	3.60	3.40
	yd^3	4.50	4.50	4.25	4.75	4.75	4.50
幅	mm	2,927	2,994	2,994	2,927	2,994	2,994
	ft/in	9'7"	9'10"	9'10"	9'7"	9'10"	9'10"
ダンピングクリアランス（最大リフトおよび45 °ダンプ時）	mm	2,981	2,856	2,856	2,943	2,817	2,817
	ft/in	9'9"	9'4"	9'4"	9'8"	9'3"	9'3"
リーチ（最大リフトおよび45 °ダンプ時）	mm	1,178	1,281	1,281	1,217	1,319	1,319
	ft/in	3'10"	4'2"	4'2"	4'0"	4'4"	4'4"
リーチ（リフトアームが水平でバケットが同じ高さにあるとき）	mm	2,729	2,890	2,890	2,784	2,945	2,945
	ft/in	8'11"	9'6"	9'6"	9'2"	9'8"	9'8"
掘削深さ	mm	86	86	56	86	86	56
	in	3.39"	3.39"	2.2"	3.39"	3.39"	2.2"
全長	mm	8,302	8,476	8,476	8,357	8,531	8,531
	ft/in	27'3"	27'10"	27'10"	27'5"	28'0"	28'0"
全高（バケット最大リフト時）	mm	5,643	5,643	5,643	5,692	5,692	5,692
	ft/in	18'6"	18'6"	18'6"	18'8"	18'8"	18'8"
ローダ最小旋回半径（バケットを運搬姿勢にしたとき）	mm	13,824	13,990	13,990	13,855	14,022	14,022
	ft/in	45'4"	45'11"	45'11"	45'6"	46'0"	46'0"
静止転倒荷重（直進時、タイヤたわみあり）*	kg	12,603	12,465	12,783	12,511	12,373	12,690
	lb	27,785	27,481	28,182	27,582	27,278	27,977
静止転倒荷重（直進時、タイヤたわみなし）*	kg	13,426	13,287	13,614	13,337	13,197	13,524
	lb	29,599	29,293	30,014	29,403	29,094	29,815
静止転倒荷重（アーティキュレート時、タイヤたわみあり）*	kg	11,055	10,917	11,220	10,968	10,830	11,133
	lb	24,372	24,068	24,736	24,180	23,876	24,544
静止転倒荷重（アーティキュレート時、タイヤたわみなし）*	kg	11,787	11,648	11,959	11,703	11,563	11,875
	lb	25,986	25,679	26,365	25,801	25,492	26,180
掘削力	kN	153	152	166	146	145	158
	lbf	34,341	34,084	37,319	32,834	32,578	35,565
運転質量*	kg	19,082	19,190	19,033	19,124	19,232	19,075
	lb	42,069	42,307	41,961	42,161	42,399	42,053

*示している静止転倒荷重および運転質量は、次の車両仕様構成に基づきます。Maxam MS302 23.5R25タイヤ、油水類満タン、オペレータ搭乗、標準カウンタウエイト、標準周囲アレンジメント、リミテッドスリップディファレンシャルアクスル（フロント/リア）、ローディングフェンダ、ライドコントロール。

（タイヤたわみあり）ISO 14397-1:2007第1 ~ 6項に完全適合（計算と試験間に2 %検証を義務付け）。

（タイヤたわみなし）ISO 14397-1:2007第1 ~ 5項に適合。

バケットとワークツールの装備は、地域によって異なる場合があります。詳細については、最寄りのCatディーラにお問い合わせください。

950 GCホイールローダの仕様

運転仕様

バケットタイプ		フラットフロア – ピンオン式	フラットフロア – ライトマテリアル – ピンオン式	ゼネラルパーパス – フックオン		
エッジのタイプ		フラッシュマウントバックグレーディングエッジ	ボルトオンカッティングエッジ	ボルトオンカッティングエッジ	ツースとセグメント	チップ
容量 – 定格	m^3	3.10	4.40	3.10	3.10	2.90
	yd^3	4.00	5.75	4.00	4.00	3.75
容量 – 110 %定格	m^3	3.40	4.80	3.40	3.40	3.20
	yd^3	4.50	6.25	4.50	4.50	4.25
幅	mm	2,994	3,059	2,927	2,994	2,994
	ft/in	9'10"	10'0"	9'7"	9'10"	9'10"
ダンピングクリアランス（最大リフトおよび45 °ダンプ時）	mm	2,815	2,782	3,008	2,891	2,891
	ft/in	9'3"	9'2"	9'10"	9'6"	9'6"
リーチ（最大リフトおよび45 °ダンプ時）	mm	1,364	1,355	1,297	1,409	1,409
	ft/in	4'6"	4'5"	4'3"	4'8"	4'8"
リーチ（リフトアームが水平でバケットが同じ高さにあるとき）	mm	2,977	2,995	2,774	2,935	2,935
	ft/in	9'9"	9'10"	9'1"	9'8"	9'8"
掘削深さ	mm	59	102	94	94	64
	in	2.32"	4.02"	3.7"	3.7"	2.52"
全長	mm	8,541	8,581	8,353	8,527	8,527
	ft/in	28'0"	28'2"	27'5"	28'0"	28'0"
全高（バケット最大リフト時）	mm	5,692	5,910	5,662	5,662	5,662
	ft/in	18'8"	19'5"	18'7"	18'7"	18'7"
ローダ最小旋回半径（バケットを運搬姿勢にしたとき）	mm	14,018	14,109	13,849	14,017	14,017
	ft/in	46'0"	46'4"	45'5"	46'0"	46'0"
静止転倒荷重（直進時、タイヤたわみあり）*	kg	12,317	11,832	11,976	11,838	12,157
	lb	27,154	26,085	26,403	26,098	26,802
静止転倒荷重（直進時、タイヤたわみなし）*	kg	13,146	12,666	12,800	12,661	12,991
	lb	28,982	27,924	28,219	27,913	28,640
静止転倒荷重（アーティキュレート時、タイヤたわみあり）*	kg	10,762	10,316	10,439	10,301	10,605
	lb	23,726	22,743	23,014	22,710	23,380
静止転倒荷重（アーティキュレート時、タイヤたわみなし）*	kg	11,499	11,056	11,171	11,032	11,346
	lb	25,351	24,374	24,628	24,321	25,014
掘削力	kN	155	123	146	145	159
	lbf	34,757	27,648	32,926	32,667	35,683
運転質量*	kg	19,399	19,558	19,698	19,806	19,649
	lb	42,767	43,118	43,427	43,665	43,319

*示している静止転倒荷重および運転質量は、次の車両仕様構成に基づきます。Maxam MS302 23.5R25タイヤ、油水類満タン、オペレータ搭乗、標準カウンタウエイト、標準周囲アレンジメント、リミテッドスリップディファレンシャルアクスル（フロント/リア）、ローディングフェンダ、ライドコントロール。

（タイヤたわみあり）ISO 14397-1:2007第1 ~ 6項に完全適合（計算と試験間に2 %検証を義務付け）。

（タイヤたわみなし）ISO 14397-1:2007第1 ~ 5項に適合。

バケットとワークツールの装備は、地域によって異なる場合があります。詳細については、最寄りのCatディーラにお問い合わせください。

フォーク仕様

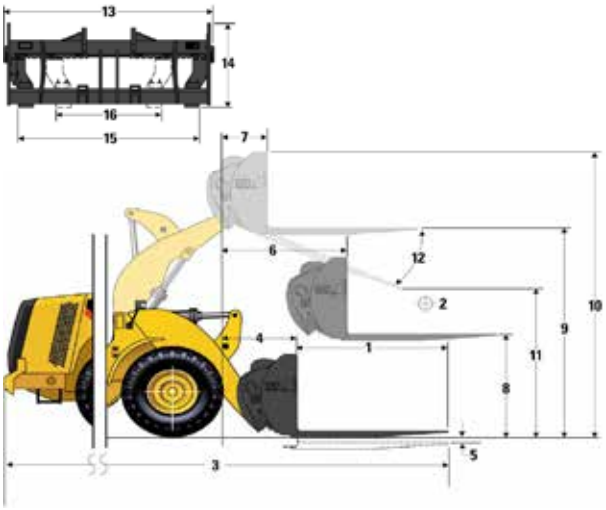
フォーク仕様

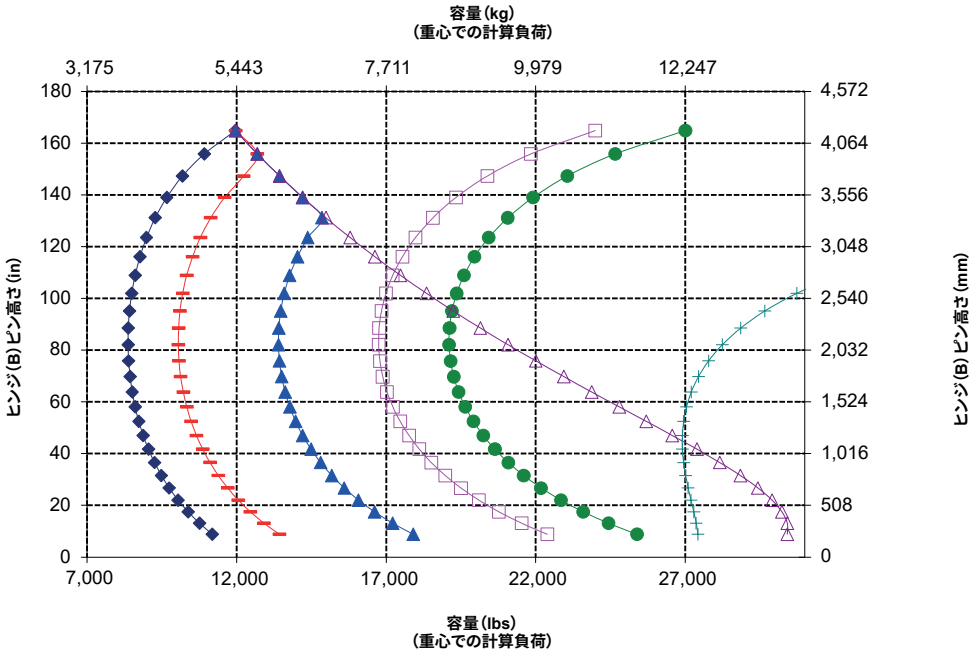
1	タイン長さ	mm in	1,524 60.0
2	荷重中心	mm in	762 30.0
	静止転倒荷重 - 直進時(フォークレベル)	kg lbs	9,221 20,323
	静止転倒荷重 - アーティキュレート時(フォークレベル)	kg lbs	8,096 17,844
	定格積載質量(SAE J1197 - FTSTL 50 %)	kg lbs	4,048 8,922
	定格積載質量(CEN EN 474-3不整地 - FTSTL 60 %)	kg lbs	4,858 10,707
	定格積載質量(CEN EN 474-3堅い平坦地 - FTSTL 80 %)	kg lbs	6,182 13,625
3	最大全長	mm in	8,960 352.7
4	リーチ(フォークグラウンドレベル時)	mm in	1,266 49.8
5	地面からタイン上部まで(最小高さおよびフォーク水平時)	mm in	-86 -3.4
6	リーチ(リフトアーム水平およびフォーク水平時)	mm in	1,768 69.6
7	リーチ(フォーク最大高さ時)	mm in	846 33.3
8	地面からタイン上部まで(アーム水平およびフォーク水平時)	mm in	1,759 69.2
9	地面からタイン上部まで(最大高さおよびフォーク水平時)	mm in	3,877 152.7
10	フォーク全高(最大リフト時)(キャリッジ上部から地面まで)	mm in	4,652 183.2
11	クリアランス(最大リフトおよび最大ダンプ時)	mm in	2,485 97.8
12	水平からの最大吐出角度	角度	48
13	キャリッジ全幅	mm in	2,217 87.3
14	キャリッジ全高	mm in	840 33.1
15	タインを含めた幅(最大幅)	mm in	2,070 81.5
16	タインを含めた幅(最小幅)	mm in	470 18.5
	タイン幅(シングル・タイン)	mm in	150.0 5.9
	タイン厚さ	mm in	65.0 2.6
	タイン容量	kg lbs	6,300 13,885
	運転質量	kg lbs	18,852 41,551

950 GC STD

パレットフォーク、FUSION

87 in キャリッジ	60 in タイン
530-1861	548-3265





注記: 静止転倒荷重と運転質量は、以下のロータ構成に基づいています: L3 MAXAM MS302タイヤ、エアコンディショニング、ライドコントロール、パワートレインガード、油水類満タン、燃料タンク、冷却水、潤滑油、オペレータ乗車。

仕様および定格は、SAE* J1197、SAE J732、CEN** EN 474-3の規格に準拠しています。

パレットフォーク装着ローダの定格作動荷重は次によって決まります。
SAE J1197:全回転静止転倒荷重の50 %または油圧限界。
CEN EN 474-3:不整地での全回転静止転倒荷重の60 %または油圧限界。
CEN EN 474-3: 堅い平坦地での全回転静止転倒荷重の80 %または油圧限界

*SAE - Society of Automotive Engineers、自動車技術者協会
**CEN - European Committee for Standardization、欧州標準化委員会

警告: タイン負荷容量を超えてはいけません。
個々のタイン容量は各タインの側面に刻印されています。

950 GCホイールローダの仕様

フォーク仕様

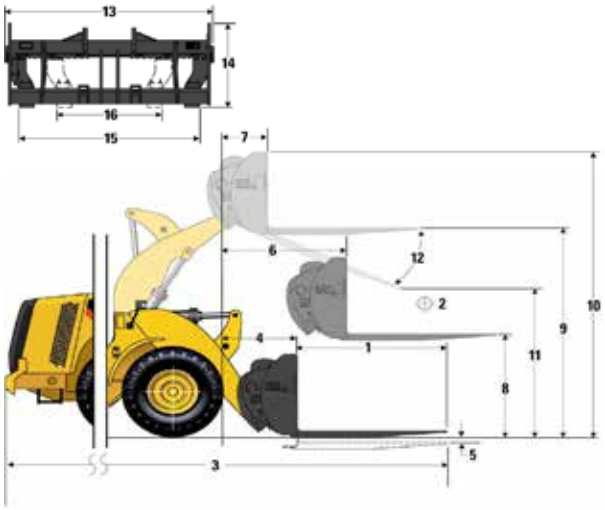
フォーク仕様

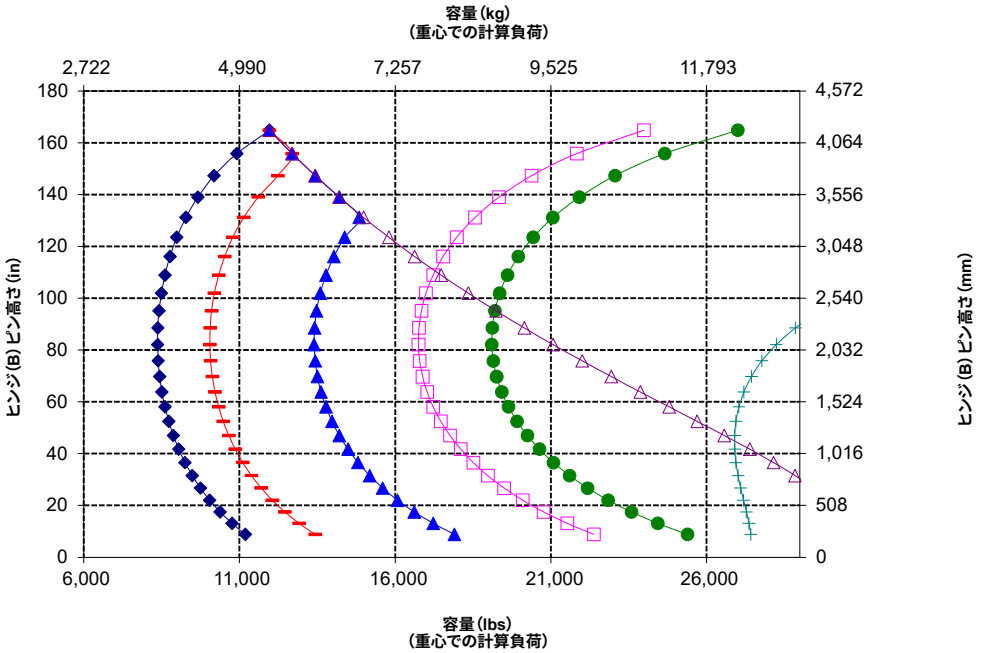
1	タイン長さ	mm in	1,830 72.0
2	荷重中心	mm in	915 36.0
	静止転倒荷重 - 直進時(フォークレベル)	kg lbs	8,775 19,340
	静止転倒荷重 - アーティキュレート時(フォークレベル)	kg lbs	7,699 16,968
	定格積載質量(SAE J1197 - FTSTL 50 %)	kg lbs	3,849 8,484
	定格積載質量(CEN EN 474-3不整地 - FTSTL 60 %)	kg lbs	4,619 10,181
	定格積載質量(CEN EN 474-3堅い平坦地 - FTSTL 80 %)	kg lbs	5,428 11,962
3	最大全長	mm in	9,266 364.8
4	リーチ(フォークグラウンドレベル時)	mm in	1,266 49.8
5	地面からタイン上部まで(最小高さおよびフォーク水平時)	mm in	-86 -3.4
6	リーチ(リフトアーム水平およびフォーク水平時)	mm in	1,768 69.6
7	リーチ(フォーク最大高さ時)	mm in	846 33.3
8	地面からタイン上部まで(アーム水平およびフォーク水平時)	mm in	1,759 69.2
9	地面からタイン上部まで(最大高さおよびフォーク水平時)	mm in	3,877 152.7
10	フォーク全高(最大リフト時)(キャリッジ上部から地面まで)	mm in	4,652 183.2
11	クリアランス(最大リフトおよび最大ダンプ時)	mm in	2,259 88.9
12	水平からの最大吐出角度	角度	48
13	キャリッジ全幅	mm in	2,217 87.3
14	キャリッジ全高	mm in	840 33.1
15	タインを含めた幅(最大幅)	mm in	2,070 81.5
16	タインを含めた幅(最小幅)	mm in	470 18.5
	タイン幅(シングル・タイン)	mm in	150.0 5.9
	タイン厚さ	mm in	65.0 2.6
	タイン容量	kg lbs	5,246 11,562
	運転質量	kg lbs	18,899 41,654

950 GC STD

パレットフォーク、FUSION

87 in キャリッジ	72 in タイン
530-1861	530-1869





注記:静止転倒荷重と運転質量は、以下のロード構成に基づいています:L3 MAXAM MS302タイヤ、エアコンディショニング、ライドコントロール、パワートレインガード、油水類満タン、燃料タンク、冷却水、潤滑油、オペレータ乗車。

仕様および定格は、SAE* J1197、SAE J732、CEN** EN 474-3の規格に準拠しています。

パレットフォーク装着ローダの定格作動荷重は次によって決まります。
SAE J1197:全回転静止転倒荷重の50 %または油圧限界。
CEN EN 474-3:不整地での全回転静止転倒荷重の60 %または油圧限界。
CEN EN 474-3: 堅い平坦地での全回転静止転倒荷重の80 %または油圧限界

*SAE - Society of Automotive Engineers、自動車技術者協会
**CEN - European Committee for Standardization、欧州標準化委員会

警告: タイン負荷容量を超えてはいけません。
個々のタイン容量は各タインの側面に刻印されています。

フォーク仕様

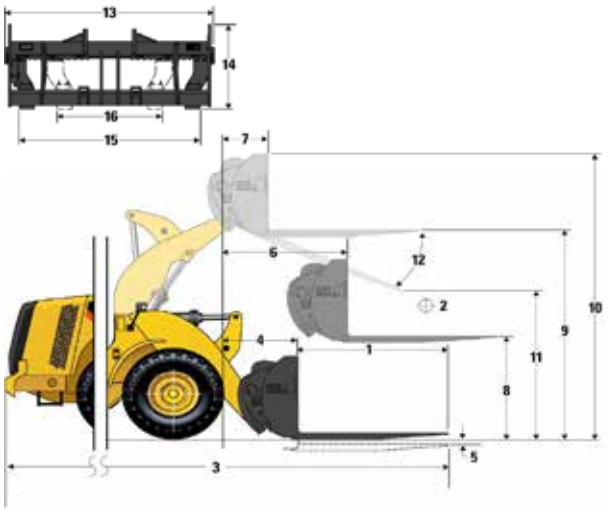
フォーク仕様

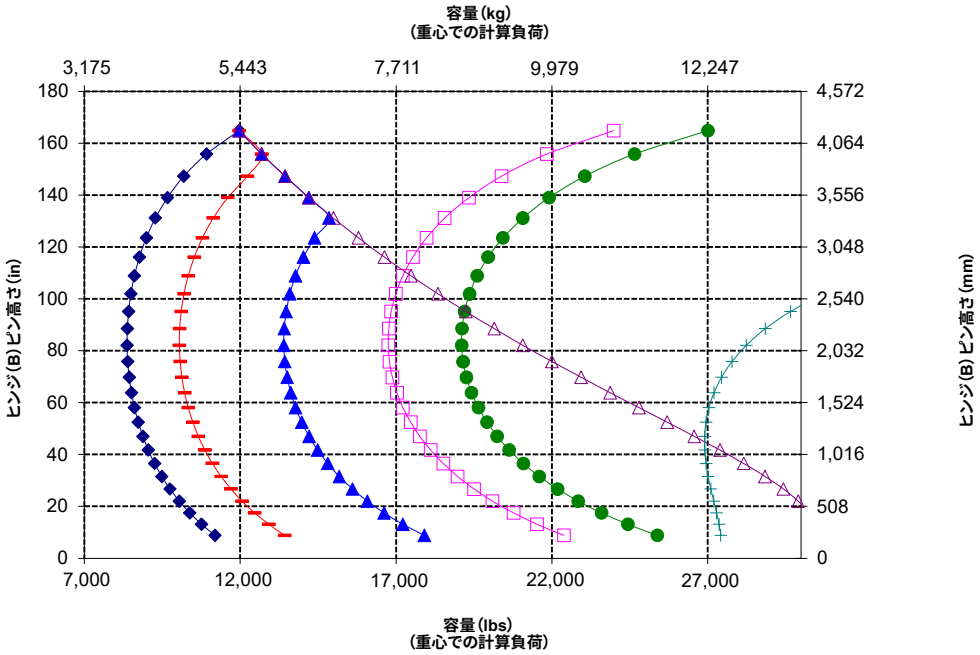
1	タイン長さ	mm in	1,524 60.0
2	荷重中心	mm in	762 30.0
	静止転倒荷重 - 直進時(フォークレベル)	kg lbs	8,947 19,719
	静止転倒荷重 - アーティキュレート時(フォークレベル)	kg lbs	7,820 17,236
	定格積載質量(SAE J1197 - FTSTL 50 %)	kg lbs	3,910 8,618
	定格積載質量(CEN EN 474-3不整地 - FTSTL 60 %)	kg lbs	4,692 10,342
	定格積載質量(CEN EN 474-3堅い平坦地 - FTSTL 80 %)	kg lbs	6,256 13,789
3	最大全長	mm in	8,915 351.0
4	リーチ(フォークグラウンドレベル時)	mm in	1,221 48.1
5	地面からタイン上部まで(最小高さおよびフォーク水平時)	mm in	18 0.7
6	リーチ(リフトアーム水平およびフォーク水平時)	mm in	1,761 69.3
7	リーチ(フォーク最大高さ時)	mm in	839 33.0
8	地面からタイン上部まで(アーム水平およびフォーク水平時)	mm in	1,863 73.4
9	地面からタイン上部まで(最大高さおよびフォーク水平時)	mm in	3,982 156.8
10	フォーク全高(最大リフト時)(キャリッジ上部から地面まで)	mm in	5,022 197.7
11	クリアランス(最大リフトおよび最大ダンプ時)	mm in	2,434 95.8
12	水平からの最大吐出角度	角度	54
13	キャリッジ全幅	mm in	2,528 99.5
14	キャリッジ全高	mm in	1,130 44.5
15	タインを含めた幅(最大幅)	mm in	2,178 85.7
16	タインを含めた幅(最小幅)	mm in	576 22.7
	タイン幅(シングル・タイン)	mm in	180.0 7.1
	タイン厚さ	mm in	90.0 3.5
	タイン容量	kg lbs	17,800 39,231
	運転質量	kg lbs	19,227 42,377

950 GC STD

パレットフォーク、FUSION

96 in キャリッジ	60 in タイン
520-7957	520-7980





注記 ：静止転倒荷重と運転質量は、以下のロード構成に基づいています:
L3 MAXAM MS302タイヤ、エアコンディショニング、ライドコントロール、パワートレインガード、油水類満タン、燃料タンク、冷却水、潤滑油、オペレータ乗車。

仕様および定格は、SAE* J1197、SAE J732、CEN** EN 474-3の規格に準拠しています。

パレットフォーク装着ローダの定格作動荷重は次によって決まります。
SAE J1197:全回転静止転倒荷重の50 %または油圧限界。
CEN EN 474-3:不整地での全回転静止転倒荷重の60 %または油圧限界。
CEN EN 474-3: 堅い平坦地での全回転静止転倒荷重の80 %または油圧限界

*SAE - Society of Automotive Engineers、自動車技術者協会
**CEN - European Committee for Standardization、欧州標準化委員会

警告: タイン負荷容量を超えてはいけません。
個々のタイン容量は各タインの側面に刻印されています。

950 GCホイールローダの仕様

フォーク仕様

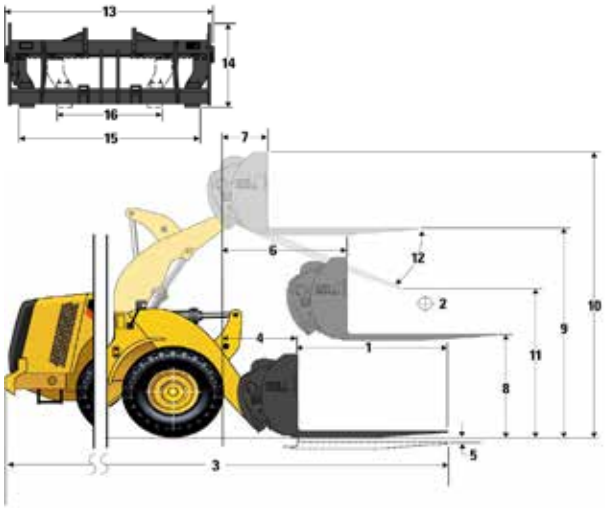
フォーク仕様

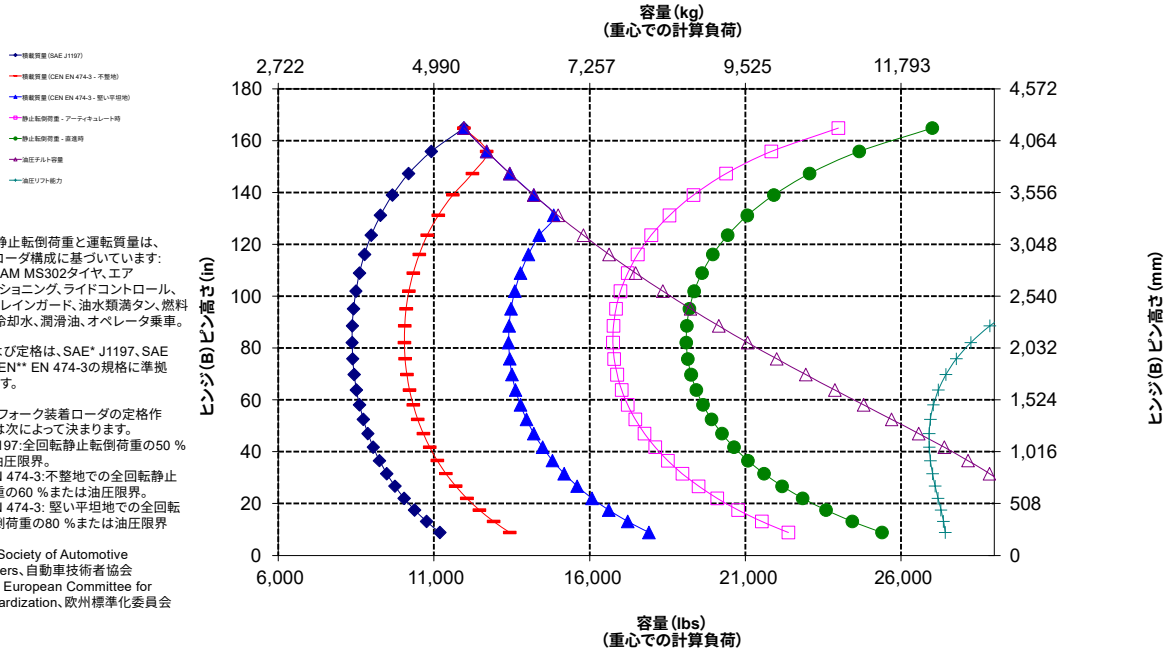
1	タイン長さ	mm in	1,829 72.0
2	荷重中心	mm in	915 36.0
	静止転倒荷重 - 直進時(フォークレベル)	kg lbs	8,496 18,725
	静止転倒荷重 - アーティキュレート時(フォークレベル)	kg lbs	7,417 16,348
	定格積載質量(SAE J1197 - FTSTL 50 %)	kg lbs	3,709 8,174
	定格積載質量(CEN EN 474-3不整地 - FTSTL 60 %)	kg lbs	4,450 9,809
	定格積載質量(CEN EN 474-3堅い平坦地 - FTSTL 80 %)	kg lbs	5,658 12,469
3	最大全長	mm in	9,220 363.0
4	リーチ(フォークグラウンドレベル時)	mm in	1,221 48.1
5	地面からタイン上部まで(最小高さおよびフォーク水平時)	mm in	18 0.7
6	リーチ(リフトアーム水平およびフォーク水平時)	mm in	1,761 69.3
7	リーチ(フォーク最大高さ時)	mm in	839 33.0
8	地面からタイン上部まで(アーム水平およびフォーク水平時)	mm in	1,863 73.4
9	地面からタイン上部まで(最大高さおよびフォーク水平時)	mm in	3,982 156.8
10	フォーク全高(最大リフト時)(キャリッジ上部から地面まで)	mm in	5,022 197.7
11	クリアランス(最大リフトおよび最大ダンプ時)	mm in	2,187 86.1
12	水平からの最大吐出角度	角度	54
13	キャリッジ全幅	mm in	2,528 99.5
14	キャリッジ全高	mm in	1,130 44.5
15	タインを含めた幅(最大幅)	mm in	2,178 85.7
16	タインを含めた幅(最小幅)	mm in	576 22.7
	タイン幅(シングル・タイン)	mm in	180.0 7.1
	タイン厚さ	mm in	90.0 3.5
	タイン容量	kg lbs	14,800 32,619
	運転質量	kg lbs	19,288 42,511

950 GC STD

パレットフォーク、FUSION

96 inキャリッジ	72 inタイン
520-7957	520-7979





注記 ：静止転倒荷重と運転質量は、以下のローダ構成に基づいています:
L3 MAXAM MS302タイヤ、エアコンディショニング、ライドコントロール、パワートレインガード、油水類満タン、燃料タンク、冷却水、潤滑油、オペレータ乗車。

仕様および定格は、SAE* J1197、SAE J732、CEN** EN 474-3の規格に準拠しています。

パレットフォーク装着ローダの定格作動荷重は次によって決まります。
SAE J1197:全回転静止転倒荷重の50 %または油圧限界。
CEN EN 474-3:不整地での全回転静止転倒荷重の60 %または油圧限界。
CEN EN 474-3: 堅い平坦地での全回転静止転倒荷重の80 %または油圧限界

*SAE - Society of Automotive Engineers、自動車技術者協会
**CEN - European Committee for Standardization、欧州標準化委員会

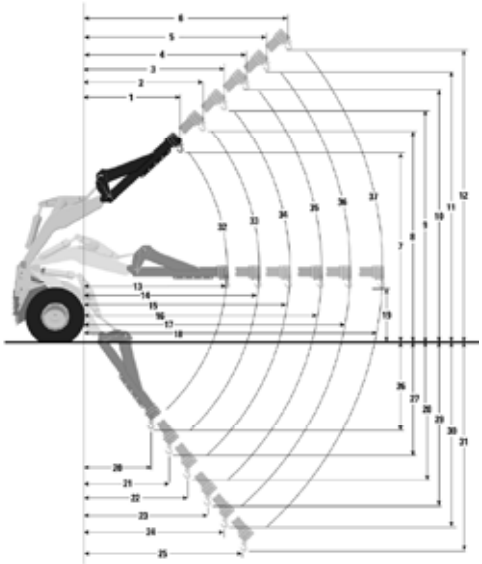
警告: タイン負荷容量を超えてはいけません。
個々のタイン容量は各タインの側面に刻印されています。

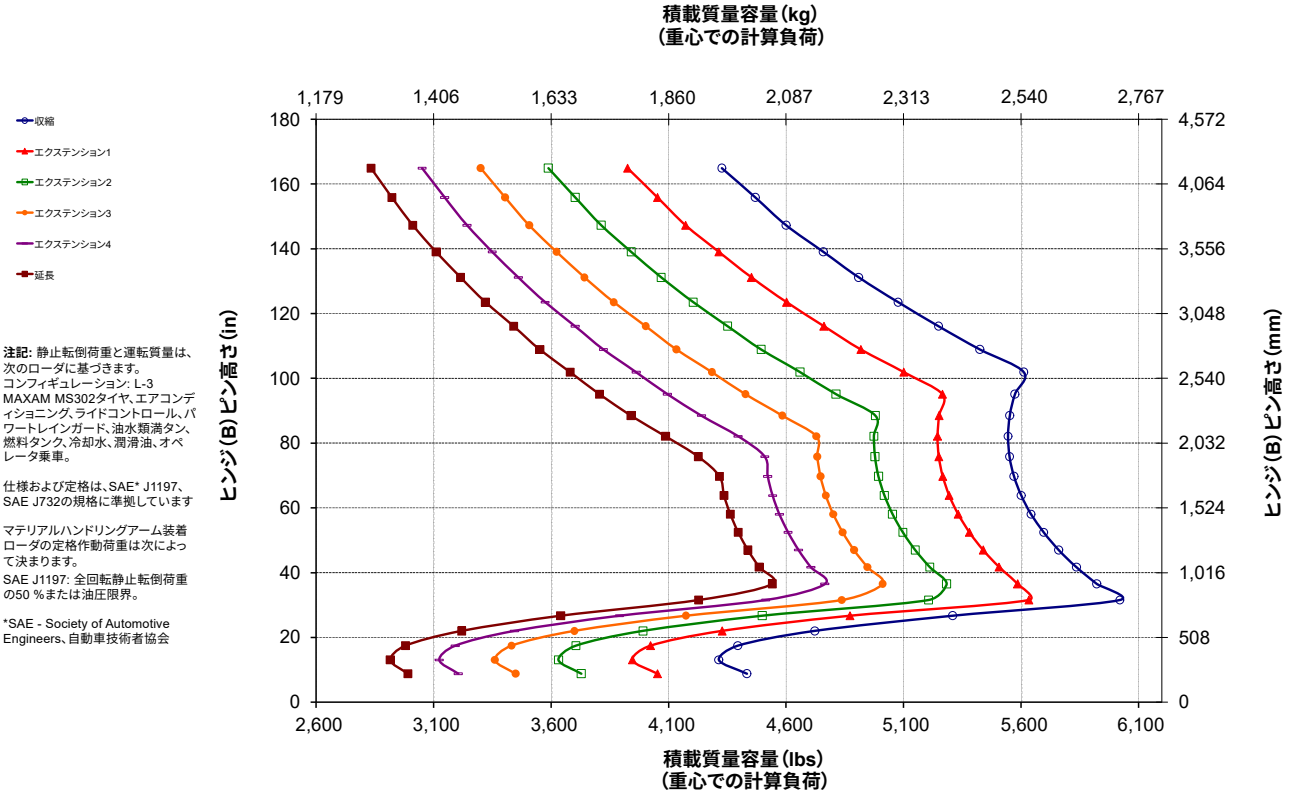
マテリアルハンドリングアーム仕様

950 GC

624-9044 Fusion MHA **6位置**

MHA仕様		収縮	エクステンション1	エクステンション2	エクステンション3	エクステンション4	延長
最大リフト - フックリーチ(1、2、3、4、5、6)	mm	2,043	2,174	2,305	2,437	2,568	2,699
	ft、in	6'8"	7'1"	7'6"	7' 11"	8'5"	8'10"
最大リフト - フック高さ(7、8、9、10、11、12)	mm	7,058	7,333	7,608	7,883	8,158	8,433
	ft、in	23'1"	24'0"	24'11"	25'10"	26'9"	27'8"
水平 - フックリーチ(13、14、15、16、17、18)	mm	4,626	4,930	5,235	5,540	5,845	6,150
	ft、in	15'2"	16'2"	17'2"	18'2"	19'2"	20'2"
水平 - フック高さ(19)	mm	1,829	1,829	1,829	1,829	1,829	1,829
	ft、in	6'0"	6'0"	6'0"	6'0"	6'0"	6'0"
最小リフト - フックリーチ (20、21、22、23、24、25)	mm	1,469	1,565	1,660	1,755	1,850	1,946
	ft、in	4'9"	5'1"	5'5"	5'9"	6'0"	6'4"
最小リフト - フック高さ(26、27、28、29、30、31)	mm	(2,979)	(3,269)	(3,558)	(3,848)	(4,137)	(4,427)
	ft、in	-9'2"	-10'3"	-11'3"	-12'4"	-13'5"	-14'5"
静止転倒荷重(直進時)	kg	5,740	5,429	5,150	4,897	4,667	4,457
	lb	12,650	11,966	11,350	10,793	10,286	9,823
静止転倒荷重(アーティキュレート時)	kg	5,039	4,766	4,519	4,296	4,094	3,908
	lb	11,106	10,503	9,960	9,469	9,022	8,614
運転質量	kg	18,613	18,613	18,613	18,613	18,613	18,613
	lb	41,024	41,024	41,024	41,024	41,024	41,024





注記: 静止転倒荷重と運転質量は、次のローダに基づきます。
コンフィギュレーション: L-3
MAXAM MS302タイヤ、エアコンディショニング、ライドコントロール、パワートレインガード、油水類満タン、燃料タンク、冷却水、潤滑油、オペレータ乗車。

仕様および定格は、SAE* J1197、SAE J732の規格に準拠しています

マテリアルハンドリングアーム装着ローダの定格作動荷重は次によって決まります。
SAE J1197: 全回転静止転倒荷重の50 %または油圧限界。

*SAE - Society of Automotive Engineers、自動車技術者協会

950 GCホイールローダの仕様

標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、CATディーラにお問い合わせください。

	標準	オプション仕様
運転席		
キャブ（加圧式、騒音抑制型）	✓	
CBラジオ対応		✓
サービスアクセスドア	✓	
ステアリングコラム（角度調整可能）	✓	
セカンダリステアリング（電気式）*		✓
シート、CATコンフォート（クロス）、メカニカルサスペンション	✓	
エアサスペンションシート（ハイバック）		✓
エアサスペンションシート（ヒータ付き）		✓
ラジオ: DAB+/AM/FM/BT		✓
ROPS/FOPSキャブ構造	✓	
ミラー（外部リアビュー）	✓	
エアコン（HVAC）（吹出口10個、キャブ外にフィルタユニット）	✓	
ウィンドウ（スライド式、左右）	✓	
パワートレイン		
CAT C7.1エンジン（排出ガス基準に適合）	✓	
アクスル（オイルクーラ）		✓
EIMS（Engine Idle Management System、エンジンアイドリング制御システム）	✓	
フィルタ、燃料プライマリウォータセパレータ/セカンダリ	✓	
ラジエータ（ユニットコア、9.5フィン、ATAAC）	✓	
ラジエータファン（電子制御、油圧駆動式、温度検出機能、オンデマンド）	✓	
リバース冷却ファン（自動および手動コントロール）		✓
ガード		✓
トランスミッションニュートララライザ（調整式）ロックアウトスイッチ	✓	
トルクコンバータ	✓	
油圧式密閉湿式ディスクブレーキ	✓	
自動パワーシフトトランスミッション（前進4速/後進3速、手動2-1キックダウン機能）	✓	
油圧システム		
ロードセンシング機能付き作動装置システム	✓	
ロードセンシング機能付き専用ステアリングポンプ	✓	
ライドコントロール		✓
追加の専用1軸レバー付き第3機能		✓
CAT XT™ホース	✓	
S•O•S℠ オイルサンプリングバルブ	✓	

	標準	オプション仕様
電気装備		
電動スタータ（ヘビーデューティ）	✓	
始動および充電システム、24 V	✓	
照明システム: ハロゲン作業灯4個、ハロゲン走行ライト2個	✓	
LEDテールライト	✓	
ライト: LED作業灯4個またはハロゲン作業灯8個		✓
モニタリングシステム		
デジタルインジケータ: ギヤインジケータ スピードメータ サービスメータユニット 故障コード	✓	
ゲージ: エンジンクーラント温度/液体レベル 作動油/トランスミッションオイル温度 タコメータ/尿素水レベル	✓	
追加装備品		
Cat自動潤滑		✓
カメラ、フロントビュー（キット）**		✓
フェンダ（ローディング）		✓
CAT PAYLOADスケールシステム		✓
CAT PAYLOAD取付け		✓
収納スペース/ツールボックス		✓
チルトシリンダガード		✓
可変後進警報ブザー（周囲騒音より3 dB高い）	✓	
キャブフロントウィンドウガード		✓
Product Link（プロダクトリンク）対応	✓	
L5トラクションタイヤ		✓
L3ラジアルまたはバイアスプライタイヤ	✓	
プレクリーナ（タービン）		✓
リンケージ		
リフトおよびバケットポジショナキックアウト（電磁機械式、機械式調整）	✓	
クイックカプラコントロール		✓
Zバー（組立てクロスチューブ/チルトレバー）	✓	

*法令で定められている場合は標準。
**使用要件については、パブリケーションM0106413を参照。

次の情報は、本書の対象となっている地域で販売するために構成された、最終製造時の機械に適用されます。この宣言の内容は発効日時点で有効ですが、機械の機能および仕様に関連した内容は予告なしに変更されることがあります。詳細については、機械の取扱説明書を参照してください。

サスティナビリティの実例および当社の進捗状況については、https://www.caterpillar.com/ja/company/sustainability.htmlをご覧ください。

エンジン

- CAT® C7.1エンジンは、米国EPA Tier 4 Final、EU Stage V、韓国Stage V、日本オフロード法2014年基準の各排出ガス基準に適合しています。
- CATディーゼルエンジンでは、ULSD（硫黄含有量が15 ppm以下の超低硫黄ディーゼル燃料）または次までの低炭素強度燃料を混合したULSDを使用する必要があります。
  - ✓ 20 %のバイオディーゼルFAME（脂肪酸メチルエステル）*
  - ✓ 100 %の再生可能ディーゼル、HVO（水素化植物油）、およびGTL（ガス液化）燃料

  適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Catディーラにお問い合わせいただくか、『Caterpillar推奨の機械油水類』（SEBU6250）を参照してください。

**後処理装置のないエンジンは、より高い混合率に対応し、最大100 %のバイオディーゼルを使用できます（混合率が20 %を超えるバイオディーゼルの使用については、Catディーラにお問い合わせください）*

エアコンディショニングシステム

当機のエアコンディショニングシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒R134a（地球温暖化係数=1,430）を使用。システムに含まれている冷媒の質量は1.9 kg（4.2 lb）で、CO_2換算で2.717メートルトン（2.995米トン）に相当します。

塗料

- 把握できる限りの情報に基づく、次の重金属の塗装内の最大許容濃度（ppm単位）は次のとおりです。
  - バリウム < 0.01 %
  - カドミウム < 0.01 %
  - クロム < 0.01 %
  - 鉛 < 0.01 %

騒音

オペレータ音圧レベル（ISO 6396:2008）	73 dB（A）
外部音響パワーレベル（ISO 6395:2008）	109 dB（A）
オペレータ音圧レベル（ISO 6396:2008）	72 dB（A）*
外部音響パワーレベル（ISO 6395:2008）	107 dB（A）**

*EU指令および英国指令の採用国を含む。
**EU騒音指令2000/14/ECおよびイギリス騒音規制2001 No. 1701

油水類

- 工場出荷時には、エチレングリコール冷却水が充填されています。CATディーゼルエンジン不凍液/クーラント（DEAC）およびCATエクステンデッドライフクーラント（ELC）は、リサイクルできます。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。
- CAT Bio HYDO™ Advancedは、EU Ecolabel認証済みの生分解性作動油です。
- その他の油水類も存在する可能性があります。詳細な推奨油水類およびメンテナンス間隔については、取扱説明書または用途および設置ガイドを参照してください。

機能およびテクノロジ

- 次の機能およびテクノロジは、燃料の節約および二酸化炭素排出量の削減に貢献する可能性があります。機能は異なることがあります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。
  - エンジンアイドリング制御システムとオートアイドリングストップ機能は、アイドル回転数を低減し、燃料効率を最大限に高める
  - 速度変更ファンにより、機械の冷却要件に合わせて回転数が調節され、燃料を節約できる
  - ロードセンシング油圧システムは、ある機能を作動させるとき、それに必要な量だけ流量と圧力を供給する

リサイクル

- 車両に含まれる材質の分類と概算の質量割合を以下に示します。製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

材質タイプ	質量割合
スチール製	43.72 %
鉄	1.17 %
非鉄金属	27.13 %
合金	0.00 %
金属および非金属混合物	0.60 %
プラスチック	0.06 %
ゴム	0.58 %
非金属混合物	0.05 %
流体	0.30 %
その他	24.39 %
未分類	2.00 %
合計	100 %

- リサイクル可能率の高い車両により、貴重な天然資源をさらに効率的に使用でき、耐用年数に到達した製品の価値が高まります。ISO 16714（土木建設機械類 – リサイクル可能率および回収可能率 – 用語および計算方法）によれば、リサイクル可能率は新品の車両のリサイクル、再利用、またはその両方が可能な質量による割合（パーセント単位の質量分率）として定義されます。

  部品表のすべての部品は、まずISO 16714および日本CEMA（Construction Equipment Manufacturers Association、日本建設機械工業会）の基準により定義されているコンポーネントの一覧に基づくコンポーネントタイプにより評価されます。さらに、残りの部品のリサイクル可能率が材質タイプに基づいて評価されます。

  製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

リサイクル可能率 – 94 %

オフロード法２０１４年
基準適合

Cat製品、ディーラサービス、および産業ソリューションに関する詳細情報については、Webサイト（**www.cat.com**）をご覧ください。

記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械はオプション装備品を含む場合があります。利用可能なオプションについては、Catディーラにお問い合わせください。

© 2024 Caterpillar. All Rights Reserved. CAT、CATERPILLAR、LET'S DO THE WORK、それらの各ロゴ、Product Link、XT、S•O•S、"Caterpillar Corporate Yellow"、"Power Edge"およびCat "Modern Hex"のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。

AJXQ2457-04 (7-2024)
ビルド番号: 01B
(N Am, Europe, Japan,
S Korea, Turkey, Chile,
Colombia)